

兵庫県立 考古博物館 NEWS Vol.9



Hyogo Prefectural
Museum of
Archaeology



2012 Spring-Summer



大輪田泊ジオラマ(テーマ展示室)

平成24年春夏号

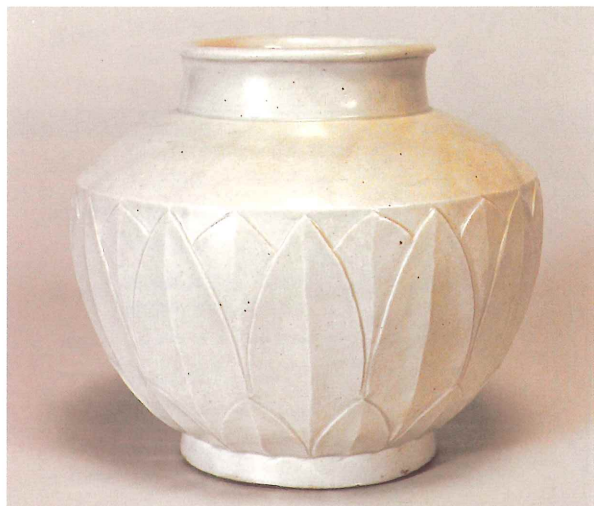
- 特別展「清盛と日宋貿易」..... 2
- ◆企画展「はかせからの挑戦状 古代人のデザインをさぐれ」..... 4
- ◆学芸員が選ぶ、私のイチオシ館藏品「則天文字の書かれた土器」..... 4
- ◆ふるさと発掘展「後期古墳の世界―横穴式石室と木棺直葬―」..... 5
- ◆こどもたちと作る 新ひょうご風土記カルタ..... 6
- ◆新メニュー登場! 鑄造体験! 「まが玉」・「和同開珎」..... 7

開館 5 周年記念特別展

清盛と日宋貿易

平成24年4月21日(土)～6月24日(日)

平清盛(1118～1181)は、父忠盛が先鞭をつけた宋との貿易を、摂津国福原(神戸市)の外港にあたる大輪田泊^{おおわだ}を拠点に大きく発展させ、現在の国際都市神戸の礎を築きました。本展覧会では、兵庫県にゆかりの深い清盛と日宋貿易に関連する考古資料や陶磁器などから、平氏政権の興亡と日宋貿易の展開に迫ります。



定窯白磁雕花蓮華文壺(岡山県立美術館蔵)

◇伊勢平氏の台頭(清盛の祖父正盛・父忠盛)

平正盛(?～1121?)、忠盛(1096～1153)は、白河・鳥羽院政期に院の近習として活躍し、平氏躍進の基盤をつくりました。伊勢平氏の居館跡とされる雲出島貫遺跡^{くもずしまぬき}(三重県津市)の木棺墓に副葬された中国製の陶磁器をはじめ、京都系土師器や東海系山茶碗など、交易品の数々を手掛かりに、正盛・忠盛父子が残した足跡をたどります。

雲出島貫遺跡木棺墓副葬品
(三重県埋蔵文化財センター蔵・三重県指定文化財)

◇清盛の登場と平氏政権

保元・平治の乱の結果、公卿に昇進した清盛は、一門を率いて大きな権勢を得ました。それとともに院の近臣・摂関家と姻戚関係を結び、高倉天皇には娘を入内させるなど、朝廷内での地歩を盤石とします。後白河法皇に対しても清盛は、法住寺殿蓮華王院(三十三間堂)を造進するなど、良好な関係を保ちました。こうした寺院に使われた屋根瓦は、林崎三本松瓦窯跡(明石市)など、平氏一門が知行していた播磨国から京へ運ばれたものです。

しかし両者の蜜月関係が破綻した後、清盛はみずからの政治権力の集大成として、福原に都を遷すことを決意しました。楠・荒田町遺跡^{くすのき あらたちょう}(神戸市)で見つかった、平行する2本の濠は、清盛が情熱を燃やした新都建設の夢の痕かもしれません。

◇日宋貿易と瀬戸内の水運

平氏一門が強大な力をもつにいたった背景には、日宋貿易がもたらした莫大な富があります。

海賊の追討を通じて、瀬戸内・九州は平氏と強い関わりをもつ土地でした。保元3年(1158)に清盛が大宰大貳となり大宰府の実権を握るや、宋との貿易は平氏一門の手に帰することとなり、嘉応2年(1170)には大輪田泊に宋船が姿を現しています。

清盛は大輪田泊に経嶋^{きやうしま}を築くなどして、瀬戸内交通の整備につとめました。京へと運ばれる舶来の産物は、淀川河口の河尻泊で川船に積みかえられます。近くの大物遺跡^{だいもつ}(尼崎市)からは、輸入品の陶磁器類に混じって、西国各地の土器が出土しており、瀬戸内交易のにぎわいを伝えます。「法華経」が記された経石は、航海の安全を願ったものでしょうか。



大物遺跡経石「法華経」(尼崎市教育委員会蔵)

A collection of various Chinese ceramic vessels, including a large yellowish vase, a white three-legged incense burner, a small blue bowl, a white pedestal cup, a yellow lid, a dark bowl, and several small white and yellow objects.

◇平氏滅亡とその後

国内の産業や流通にも新しい風が吹いており、
りょくふうだい
 緑風台窯跡(西脇市)で東海系瓷器窯の影響を受けて
 焼かれた四耳壺は、次代への先駆けをなすものです。

◇エピローグ

“^{おご}驕れるものも久しからず”

『平家物語』によって「悪人清盛」像は、日本人の中に刷り込まれてきたといえます。しかし近年、新しい解釈によって、清盛の評価は「武家の世」を切り開いた先覚者として、見直されつつあるところでしょう。

兵庫県内にはそうした清盛や源平にゆかりの事跡が数多く残されています。源平合戦の古戦場に、清盛塚・敦盛塚などの追善供養塔、またそれにまつわる伝承も含めて「平清盛と源平合戦関連文化財群」として、兵庫県教育委員会がとりまとめようとしています。こうした試みを通じて、清盛が福原の地で構想した「武士による新しい国づくり」、「東アジアにつながる国際都市福原の建設」の壮大な夢を感じていただきたいと思います。

(学芸課 岡崎正雄)

【講演会】

会 場／当館講堂 13:30~15:00
当日受付(12:30より整理券配布)・無料・定員120名

- 4月21日(土) 「清盛像の虚実」
高橋昌明(神戸大学名誉教授)
- 5月12日(土) 「日宋貿易を貿易陶磁に探る」
亀井明德(専修大学名誉教授)
- 5月19日(土) 「中世の兵庫津に探る清盛の影」
藤田裕嗣(神戸大学大学院教授)
- 5月26日(土) 「平清盛と日本文化」
樋口大祐(神戸大学大学院准教授)
- 6月 2日(土) 「平泉幕府と福原・六波羅幕府」
入間田宣夫(東北芸術工科大学教授)
- 6月 9日(土) 「平清盛の遷都構想—和田京・
小屋野京・印南野京・福原京—」
山田邦和(同志社女子大学教授)

【展示解説】

会期中の毎日曜日。13:30~14:00

【遺跡ウオーク】

「幻の福原京を求めて」
日 時／5月27日(日) 10:00~15:00
行 き 先／神戸市中央区・兵庫区
定 員／20名(要申込み)
参 加 費／100円

【平氏興亡クイズラリー】

日 時／5月20日(日)・6月3日(日)・6月17日(日)
13:30～15:00 要観覧料

【体験講座】

「プチ蒔絵体験 ―王朝の美を体験しよう―」
日 時／6月24日(日)
10:00～12:00・13:00～15:00
定 員／50名(中学生以上・要申込み)
参 加 費／無料(要観覧券)

【体験イベント】

「考古博であそぼう 体感!源平合戦」
日 時／5月3日(木)～5日(土) 12:30～15:30
楽しい体験がいっぱい。ご家族でどうぞ。

※イベントの参加申込は学習支援課(☎079-437-5564)まで

- 主 催／兵庫県立考古博物館 神戸新聞社
- 後 援／兵庫県 兵庫県教育委員会
NHK神戸放送局 サンテレビジョン
ラジオ関西
- 協 力／船の科学館・海の博物館ネットワーク
圓山記念日本工芸美術館
考古楽倶楽部
- 観覧時間／9:30～18:00(入館は17:30まで)
- 観覧料金／大人500円 大学生400円
高校生250円 中学生以下は無料
- 休 館 日／月曜日(ただし4月30日は開館)

企画展予告 はかせからの挑戦状

古代人のデザインをさがれ

平成24年7月20日(金)～9月2日(日)

私たちの祖先は、土や木・石・金属などいろいろな素材から、さまざまな道具を作りだしてきました。設計図や機械がなくても、古代の人たちは頭の中に描いたイメージを形にしていたのですね。今でも通用するようなしゃれた飾りや、不思議な形にデザインされた遺物の秘密に迫ってみませんか!?

また、ふだん何気なく使っている、たとえば台所用品や工具などでも、そっくりなものが遺跡から出土することがあって、そのルーツは古代にまでさかのぼることが分かります。出土品を物のデザインという面から見つめ直してみると、千年も二千年も前の物が、意外に身近に感じられるかもしれません。

さあ! この夏休みには古代人が残したデザインの謎解きにチャレンジしてみよう!!

(学芸課 中川 渉)



不思議な形の勾玉(子持勾玉・南あわじ市雨流遺跡)

学芸員が選ぶ、私のイチオシ館蔵品

「則天文字」の書かれた土器

—篠山市西木之部遺跡—

西木之部遺跡(篠山市東木之部)は奈良時代から鎌倉時代まで続く集落遺跡で、古代の丹波国多紀郡河内郷にあたります。多数の掘立柱建物や井戸などがみつかり、^{すずり}硯や^{りょうわん}稜碗など^{かんが}官衙的な遺物が出土しました。

ここから出土した奈良時代の須恵器に、則天文字に似た文字が墨で書かれていました。則天文字とは中国の唐の時代の高宗の後、則天武后(624～705)が690年に考案した17文字の独特な文字のことで、その使用を全国に命じました。日本には遣唐使によってもたらされたと考えられています。中国では武後の死とともに使用禁止となった文字ですが、日本では使用され続けました。時代劇水戸黄門でおなじみの徳川光圀の「圀」の字もその例です。呪術的な意味を含めた特殊な文字として土器に書かれたと推測されています。不思議な形の文字たちが古代人の目にどう映り、広まって定着したのか興味深いところです。

(学芸課 藤間温子)



則天文字の「天」(天)に似た文字が書かれた須恵器

ふるさと発掘展

後期古墳の世界

ー横穴式石室と木棺直葬ー

平成24年7月7日(土)～9月2日(日)

会場：小野市立好古館

兵庫県の中央を流れる大河、加古川はその豊かな恵みにより、古来より香り高い文化を育んできました。今から約1700年前ごろから始まる古墳時代には、当時の権力者の墓である古墳が加古川中流域にも数多く築かれています。小野市立好古館との共催による今回の展示会では、加古川中流域の多様な古墳文化について、豊富な副葬品をもとに迫ってみたいと考えています。

【古墳時代前・中期の加古川中流域】

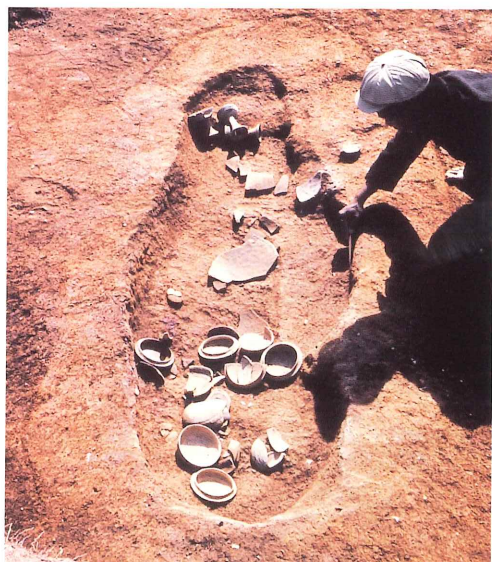
全長100mを超える玉丘古墳(加西市)や岡ノ山古墳(西脇市)、愛宕山古墳(三木市)、王塚古墳(小野市)など、加古川とその支流に主要古墳が点在しています。地域ごとに有力者が存在していました。

【横穴式石室が導入される古墳時代後期】

後期になると権力者だけでなく、有力な一族も古墳を造ることができるようになるため、古墳の数が増大し群集墳が形成されます。巨石を積んだ石の部屋に人を埋葬する横穴式石室の導入も大きな特徴です。横穴式石室を持つ古墳は、東山古墳群(多可町)、緑ヶ丘古墳(西脇市)、正法寺古墳群(三木市)など各地に広がっています。

【木棺直葬が多い小野市域】

ところが、小野市では少し様相が異なっています。100基以上の古墳が集中する焼山古墳群、檜山古墳群、船木・中番古墳群などでは、横穴式石室ではなく、墳丘に掘った穴へ直接お棺を納めています。こうした埋葬法は木棺直葬と呼ばれ、古い形を継承したものとされます。中でも焼山古墳群は、戦後の開拓に伴う保護運動で昭和33年に発掘調査が実施され、木棺直葬墳の調査方法が確立された、学史的にも有名な古墳群です。



焼山古墳群の発掘調査の様子
(小野市立好古館提供)



勝手野古墳群出土装飾付須恵器

しかし、市の南西や北東部では横穴式石室も採用されています。その代表例が石室の前に置かれた装飾付須恵器で知られる勝手野古墳群です。

この他、船木・中番古墳群(小野市)や名草古墳群(加東市)には「カマド塚」と呼ばれる特殊な墓も見られます。こうした加古川中流域の多様な後期古墳の世界に是非ふれてみてください。

(小野市立好古館 西田 猛・学芸課 藤田 淳)

◆展覧会情報◆

会場／小野市立好古館
小野市西本町477 ☎0794-63-3390
開館期間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日／月曜日(祝祭日の場合は翌日)
料金／大人200円、小人100円

【フォーラム】

「加古川中流域の後期古墳を語る」
日時／8月5日(日)13:30～
会場／小野高校百周年記念館
定員／300名(先着) 無料
講師／石野博信(兵庫県立考古博物館館長)
中村 弘(兵庫県立考古博物館)
西田 猛(小野市立好古館)ほか

【古代体験教室】

日時／8月19日(日)10:00～12:00
場所／小野市立好古館
定員／30名 無料(入館料が必要)

【バスで巡る 子ども古墳見学会】

日時／8月8日(水)9:00～15:30
場所／焼山古墳群、東山古墳群ほか
定員／40名 無料
申込／7月31日までに小野市立好古館へ

こどもたちと作る

新ひょうご風土記カルタ

今から約1,300年前の奈良時代の事、朝廷から全国にある命令が下されました。それは、地名や産物、土地の肥沃の状態、地名の起源、伝えられている旧聞異事などを書き記して天皇に献上せよというもので、「風土記の勅」と呼ばれています。この命令にしたがい全国から『風土記』が朝廷に提出されました。

しかし、長い年月の間にすべて失われて、後の時代に書き写されたものの5ヶ国分がわずかに残っているだけです。そんな中で当館のある播磨地域の風土記『播磨国風土記』は、完成から数百年ほど後に書き写されたものが、大切に伝えられ今に至っています。そこには播磨地域の地名のいわれや産物、天皇や神々、渡来人の伝承などが漢文体で記され、その物語にはユーモラスなものが多くあります。

そんな『風土記』を現代的な視点で、子どもたちと一緒に今に甦らせてみようではないか、という石野館長の思いからこの事業はスタートしました。自分たちが暮らす町の歴史や自然風土、産物など「私の町にはこんなに素晴らしいモノがたくさんあるよ」ということを、カルタづくりをとおして表現してもらいました。

当館が目指す博物館の姿の一つである「ネットワーク型博物館」としての特性を生かし、県内の教育委員会、博物館、資料館、埋蔵文化財センターなどに参加を呼びかけました。参加いただいた機関は、主に夏休みを利用して、あるいは管下の小学校や地元の団体へ呼びかけ、カルタづくりに取り組んでいただきました。こうして、県内旧五ヶ国すべての地域から700枚を超えるカルタが集まりました。



カルタづくりの様子（但馬国府・国分寺館）



楽しさ一杯の「新ひょうご風土記カルタ」

子どもたちが取り上げてくれた題材は様々です。銅鐸や古墳・城跡などの考古資料・史跡、お寺や神社などにある歴史的建造物、ホタルイカや大納言小豆のような特産物、他に化石、奇岩、郷土の偉人、マスコットキャラクターなど多岐にわたります。カルタづくりをとおして地元の身近な題材に改めて目を向けて、子どもらしい絵と文章で表現してくれました。

その中からいろ・は44文字分を選考し、まもなく出来上がろうとしているのが『新ひょうご風土記カルタ』です。完成したカルタは連携機関などをとおして、県内の小学校でも楽しんでいただけるようにします。

このカルタには県内の歴史や風土が凝縮されています。カルタを楽しみながら地域の歴史文化遺産にふれる、さらには、自分たちの町のことをもっと詳しく知ろうとする、そんな契機になることを願っています。

(学芸課 藤田 淳)

新ひょうご風土記カルタ完成記念
「巨大カルタ大会」

3月25日(日) 14:00~15:30(雨天中止)

13:30より館内で受付・無料

新メニュー登場！

鑄造体験！「まが玉」・「和同開珎」



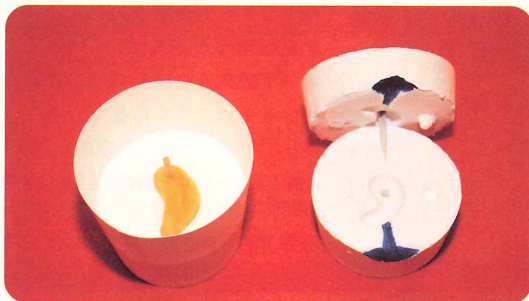
このたび、古代体験メニューとして金属を使った「まが玉」・「和同開珎」づくりを追加しました。まだまだイベントなどに限っての実施となりますが、博物館との出会いがより楽しいものになるように願っています。

特殊な金属を使った鑄造体験！

鑄造っていうと難しそうに感じてしまいますが、ちょっとしたコツをつかむと、なかなかおもしろくてはまってしまいます。考古博での鑄造体験はむかしの鑄造過程を意識しながら、鑄型をつくることからおこないます。今回使用する金属は減摩合金！低温(220℃前後)で溶ける優れものです。ぜひ、古代人の知恵や技術を体験してみてください。(兵庫県では金属製のまが玉や銀の和同開珎も出土しています。)

●つくりかた●

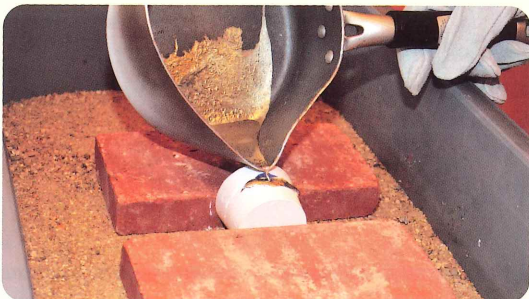
①紙粘土などで原型をつくり、紙コップを使って石膏型を作製！石膏が固ったら金属を流し込む湯口をつくります。これで鑄型の完成！！



③数分後、温度が下がってから鑄型をはずします。すると、中には原型通りに合金が成形されています。思わず拍手さい！



②いよいよ減摩合金をコンロで溶かしていきます。「金属が溶ける様子を見るのは初めて」という人も意外と多いのでは…十分に溶けたら鑄型に流し込みます。



④鑄造の後は、ヤスリと耐水ペーパーを使って形を整えていきます。磨けば磨くほど、輝きが増していきます。光り輝く金属まが玉に大満足!! 「和同開珎」も同じ手順でつくります。



(学習支援課 上出正彦)

鑄造体験関連イベントの紹介

平成24年 5月 3日(木)～5日(土) 考古博であそぼう 体感!源平合戦 宋銭をつくろう
平成24年 8月11日(土) ずしり!金属まが玉づくり
平成24年12月 8日(土) 和同開珎をつくろう

※その他、いつでもできる古代体験として、「まが玉をつくろう」・「ミニミニ石包丁づくり」(有料)、「ループ組みひも」・「火おこし体験」(無料)を毎日実施しています。ぜひあそびにきてくださいね!

イベント・スケジュール

4 月	分類	名称
8 日 (日)	展覧会	企画展「ひょうごの遺跡 vol.4 -調査研究速報-」開幕
	イベント	おおむかし かみしばい
14 日 (土)	解説	バックヤード見学ツアー
21 日 (土)	展覧会	特別展「清盛と日宋貿易」開幕
	講演会	特別展講演会「清盛像の虚実」 高橋昌明(神戸大学名誉教授)
5 月		
3 日 (木) ~5 日 (土)	イベント	考古博であそぼう「体感！源平合戦」
12 日 (土)	講演会	特別展講演会「日宋貿易を貿易陶磁に探る」 亀井明徳(専修大学名誉教授)
	解説	バックヤード見学ツアー
13 日 (日)	イベント	おおむかし かみしばい
19 日 (土)	講演会	特別展講演会「中世の兵庫津に探る清盛の影」 藤田裕嗣(神戸大学大学院教授)
20 日 (日)	イベント	平氏興亡クイズラリー
26 日 (土)	講演会	特別展講演会「平清盛と日本文化」 樋口大祐(神戸大学大学院准教授)
27 日 (日)	ツアー	遺跡ウォーク「幻の福原京をもとめて」
6 月		
2 日 (土)	講演会	特別展講演会「平泉幕府と福原・六波羅幕府」 入間田宣夫(東北芸術工科大学教授)
	体験講座	基礎からわかる古代の土器づくり
3 日 (日)	イベント	平氏興亡クイズラリー
9 日 (土)	講演会	特別展講演会「平清盛の遷都構想-和田京・小屋野京・ 印南野京・福原京-」山田邦和(同志社女子大学教授)
	解説	バックヤード見学ツアー
10 日 (日)	イベント	おおむかし かみしばい
16 日 (土)	体験講座	赤米をつくろう(田植え)
17 日 (日)	イベント	平氏興亡クイズラリー
24 日 (日)	体験講座	プチ蒔絵体験-王朝の美を体験しよう-
	展覧会	特別展「清盛と日宋貿易」閉幕
30 日 (土)	体験講座	ループ組紐教室 5本のループに挑戦！
7 月		
7 日 (土)	展覧会	ふるさと発掘展 「後期古墳の世界-横穴式石室と木棺直葬-」開幕
	体験講座	キラリ！ガラスでまが玉づくり
8 日 (日)	イベント	おおむかし かみしばい
	解説	バックヤード見学ツアー
14 日 (土)	講演会	考古学研究最前線1「意匠(デザイン)の考古学」中川渉
	体験講座	鳥形埴輪をつくろう
20 日 (金)	展覧会	企画展「はかせからの挑戦状 古代人のデザインをさがれ」開幕

7 月	分類	名称
21 日 (土)	体験講座	ハニワくんをつくろう
22 日 (日)	イベント	クイズラリー
28 日 (土)	体験講座	踊るハニワをつくろう
29 日 (日)	イベント	クイズラリー
8 月		
4 日 (土)	体験講座	分銅形土製品をつくろう
11 日 (土)	体験講座	ずしり！金属でまが玉づくり
	解説	バックヤード見学ツアー
12 日 (日)	イベント	クイズラリー
17 日 (金)	イベント	おおむかし かみしばい
	体験講座	小・中学生のための組みひもづくり
18 日 (土)	体験講座	ペーパークラフト 古代のタイムカプセルをつくろう
19 日 (日)	イベント	クイズラリー
25 日 (土)	体験講座	チャレンジ！本格まが玉づくり
26 日 (日)	イベント	クイズラリー
9 月		
1 日 (土)	体験講座	強力パワー！子持まが玉づくり
	イベント	クイズラリー
2 日 (日)	展覧会	企画展「はかせからの挑戦状」閉幕 ふるさと発掘展「後期古墳の世界」閉幕
8 日 (土)	講演会	考古学研究最前線2「弥生時代の石器 -今から2000年前の石の道具-」上田健太郎
	体験講座	浅鉢形土器をつくろう
	解説	バックヤード見学ツアー
9 日 (日)	イベント	おおむかし かみしばい
22 日 (土)	講演会	考古学研究最前線3「卑弥呼がいた時代」菱田淳子
	体験講座	紙ひもでハニワくんをつくろう
29 日 (土)	体験講座	ループ組紐教室 5本のループに挑戦！
30 日 (日)	シンポジウム	開館5周年・大中遺跡発見50周年記念シンポジウム 「卑弥呼がいた時代」(会場：神戸新聞松方ホール) 石野博信・西谷正・福永伸哉・難波洋三・森岡秀人
10 月		
6 日 (土)	展覧会	特別展「卑弥呼がいた時代」開幕
7 日 (日)	イベント	考古博であそぼう「大中探検隊」
8 日 (月)		
13 日 (土)	講演会	特別展講演会「『伊都国』を掘る」角浩行(糸島市教育委員会)
	解説	バックヤード見学ツアー
14 日 (日)	イベント	おおむかし かみしばい
20 日 (土)	講演会	特別展講演会「『奴国』を掘る」常松幹雄(福岡市教育委員会)
	体験講座	赤米をつくろう(稲刈り)
21 日 (日)	体験講座	どんぐりであそぼう！

■「石棺に入ろう」は毎週土曜日、「古代船に乗ろう」は毎週日曜日に実施。14:00~15:00

■休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)※4月24日(火)~5月6日(日)、8月7日(火)~19日(日)は無休

■体験講座は事前予約が必要な場合があります。TEL079-437-5564(学習支援課)

■イベントについての詳細情報は当館ホームページ・チラシでご確認ください。

兵庫県立考古博物館NEWS vol.9 2012 Spring-Summer

発行年月日 平成24年3月15日

編集・発行 兵庫県立考古博物館
〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1
TEL.079-437-5589
FAX.079-437-5599
<http://www.hyogo-koukohaku.jp>

- 電車をご利用の方/JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分
- お車をご利用の方/第2神明・加古川バイパス明石西ICから約3km
- 駐車場/町営大中遺跡公園駐車場・野添であい公園駐車場をご利用
ください(普通車1回200円)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド。
兵庫県立考古博物館

